



次年度もロータリーを楽しみましょう！

週報

世界に希望を生み出そう
CREATE HOPE in the WORLD

ゴードン R. マッキナリー

2023-24 年度 国際ロータリー会長

令和 6 年
6 月 25 日
2024 年
JUN

第 2923 号

NAHA
Rotary
那覇ロータリークラブ

第 3047 回 例会報告 例会記録・予定

出席報告

会 員 数	65 名
出 席 免 除 会 員	1 名
出 席 計 算 会 員	64 名
出 席 会 員	30 名
欠 席 会 員	34 名
出 席 率	46.88%

退会

具志堅 興一 会員 (電気工事材料販売)

新垣 安仁 会員 (教育事業)

欠席会員名 新垣 (典)、上原 (義)、
中村、新垣 (豊)、与儀、平良、新里、
長嶺、許田、国吉、渡辺、下石、新垣
(安)、中村 (英)、宜保、白石、与那覇、
上原 (修)、赤嶺、堀川、下地、義元、
喜納、吉野、古江、首藤、河井、鈴木
(順)、桂原、尾島、久見瀬、湊辺、
浅香、河野。

☆プログラム

7 月 2 日 (火) 2024-25 年度

伊志嶺 匡 会長年度 初例会

「理事・役員・各担当委員長ご挨拶」

7 月 9 日 (火)

「緑間 禎 沖縄分区ガバナー補佐 (那覇東)・

西村 真一 分区幹事 (那覇東) クラブ訪問」

7 月 23 日 (火)

「国際ロータリー第 2580 地区

青少年交换来日学生帰国前報告会」

7 月 30 日 (火) 休会

8 月 20 日 (火)

「国際ロータリー第 2580 地区

第 34 回地区インターアクト年次大会報告」

沖縄県立那覇高等学校インターアクトクラブ

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西 3 警察-6-1 (パシフィックホテル沖縄 1 階) TEL 868-1224 FAX 861-4918

E-mail アドレス naha-rc@m1.cosmos.ne.jp HP アドレス : <http://naha-rc.org/>

会長 亀川 偉作 副会長/クラブ管理運営委員長/会長エレクト 伊志嶺 匡 副会長/クラブカウンセラー 上原 義信
幹事 保田盛 清士 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 新垣 淑豊 委員 与儀 達樹

■ニコニコ BOX (*^*)v

亀川 偉作 会長

皆様、一年間本当にありがとうございました。力不足の会長でしたが、皆様のおかげで、一年間乗り切ることができました。また次年度も盛り上げて参りましょう。ニコニコ。

保田盛 清士 幹事

一年間ありがとうございました。無事今日を迎える事ができホッとしました。大人のクラブ活動の苦労もありましたが楽しめました。皆さんに感謝。

金城 智誉 直前会長

亀川偉作会長、保田盛幹事、1年間お疲れさまでした。世界平和！にここに。

安里 政晃 パスト会長

弁護士コンビの会長幹事、一年間お疲れ様でした。次年度もしっかり頑張りましたね。

山城 博美 パスト会長

亀川会長と保田盛幹事の素晴らしい年度でした。お疲れ様！新年度にいいバトンを繋ぎましたね。2525.

當間 卓 パスト会長

亀川会長、保田盛幹事、一年間ありがとうございました。ニコニコ。

比嘉 孝明 パスト会長

亀川会長、保田盛幹事、1年間お疲れ様でした。伊志嶺年度も皆出席で盛り上げて頂きますようお願い申し上げます。ニコニコ。

伊志嶺 匡 会長エレクト

亀川会長、保田盛幹事、一年間お疲れ様でした。来年度も引き続きよろしくお願ひします。

津嘉山 伸 会長ノミニー

亀川会長、保田盛幹事、理事役員の皆様、1年間お疲れ様でした。また来週からの伊志嶺会長、安里幹事年度を皆様と盛り上げて行きましょう。ニコニコ。

■ニコニコ BOX (*^*)v 続き

鈴木 康友 会員

亀川会長、保田盛幹事、一年間ご苦労様でした。良い仕事、有難うございます。

松島 寛和 会員

亀川会長、保田盛幹事、1年間お疲れ様でした。ルンルン！

米須 義明 会員

亀川会長、保田盛幹事、1年間お疲れさまでした。

赤岩 勇二 会員

亀川会長、保田盛幹事お疲れ様でした。伊志嶺、安里年度も活動頑張ります。

SAA 委員会一同

1年間、例会の進行にご協力下さいまして、ありがとうございました。

■2023-24年度ニコニコ BOX

本日のニコニコ BOX	¥28,000
ニコニコ BOX 累計	¥569,000

■会長報告

亀川 偉作 会長

*今年度最終例会の会長報告として
栃木一夫ガバナーより嬉しいお知らせが届きました。意義ある奉仕賞に応募しておりました「珊瑚で沖縄の海を取り戻すプロジェクト」の受賞が決定したとの事。地区納めの会でクラブを代表して表彰を受けて参ります。皆様のご協力ありがとうございました。

「意義ある奉仕賞」地域社会の重要な課題やニーズに取り組むプロジェクトを実施したクラブを表彰する賞です。

■幹事報告

保田盛 清士 幹事

*インターアクト沖縄分区慰霊の日清掃活動は6/30(日)午前9時15分～場所は宜野湾市嘉数高台公園で行われます。ご都合のつく会員の皆さんはご参加下さい。

■7月は母子の健康月間 (Maternal and Child Health Month)です。

日本の姉妹都市との絆、ブラジルの新生児を救う 執筆: Vanessa Glavinskas

陣痛がはじまり、妊婦はおびえています。予定日は3カ月も先。一番近い病院は48kmも離れており、生まれても体重は1,000gに満たないでしょう。問題はもう一つ。病院の新生児集中治療室には保育器が7台しかなく、満員になると赤ちゃんを別の病院に搬送する必要があります。命をつなぎとめたとしても、両親は数カ月も長距離の病院通いを余儀なくされます。ブラジル・リベイラバレーの病院(Dr. Leopoldo Bevilacqua Regional Hospital)でも、多くの妊婦が同じような困難に直面しています。設備が不足すると、すでに危険な状態にある新生児をほかの病院に搬送しなければなりません。

この影響は、サンパウロ州の高い乳児死亡率に表れています。「ここには2つの現実があります。私立病院の費用を払える人と、払えない人です。払えない人は、24もの町をカバーしている州立病院まで長距離を往復しなければなりません」。

Registro-Ouro ロータリークラブ(ブラジル)のプロジェクトを主導したリナ・シミズさんは、このように話します。

そこで、同クラブとRegistro ロータリークラブは、岐阜県中津川の2つのロータリークラブとパートナーとなり、グローバル補助金プロジェクトを実施しました。

ロータリアンは172,500ドル(約1,900万円)を集め、新生児の集中治療室に保育器5台を追加。これにより、それまでの倍近い新生児の受け入れができるようになりました。2013年には新生児129名、プロジェクト完了後も毎年、新生児約220名の命を救っています。また、換気装置5台、ビリルビン測定装置1台、ベビーベッド3台、血圧・心拍数モニター5台、新生児黄疸光線治療器1台も設置したほか、住民を対象に出産前ケアのワークショップの推進にも貢献しました。この活動は、医療サービスや出産前ケア・母乳の重要性についてあまり知らなかった遠隔地の妊婦にとって、大きな支えとなりました。

中津川のロータリアンは以前、補助金で困難を経験したことから国際活動の支援を断念していましたが、今回の経験が大きな転機となりました。この変化を導いたのは、レジストロ市と中津川市の「姉妹都市」提携です。双方のロータリアンは、定期的に交流して友好を深めてきました。だからこそ日本のロータリアンも、自分たちの資金が有効に使われると確信できたのでしょう。日系人で日本語を流暢に話せるシミズさんの存在も、信頼関係とコミュニケーションの構築に大きく寄与しました。ここには37年かけた友情と絆がある。中津川ロータリークラブの原満夫さんは、そう述べました。